

事業団本部
平成29年度 事業計画

1. 人材確保の取り組み

(1) 地方エリアへの人材確保活動

- ・九州（宮崎、鹿児島、熊本、長崎）の高等学校の先生方との個別面談会「就職進路情報フォーラム」へ参加し、地方から就職者の受け入れ拡大をめざします。
- ・地方の福祉系専門学校については、継続して求人案内を発送するとともに電話やメールにて学生の進路状況や動向についてヒアリングを行います。県外への就職希望の学生がいる場合には必要に応じて訪問して対応を行います。

(2) 京阪神の専門学校への求人活動

- ・京阪神にある福祉系専門学校や大学の福祉学科等へ訪問活動を行います。6月の就職フェア開催時期前と秋期の就職活動実施前にあわせて実施します。
- ・学生アルバイトのチラシを作成し、各施設から近距離にある専門学校に対して働きかけ、学生の早期確保につながるよう努めます。また、「学生が就職先を選ぶ基準」を把握するためのアンケート調査の検討を行います。
- ・就職フェア、就職ガイダンス等への出展のサポートを行います。

(3) 新たな人材確保対策の検討

- ・施設と連携し、外国人介護福祉士（EPA）の受け入れや日本語学校との連携等について検討、対応を行います。
- ・求人活動ツールとしてリクルートブックを作成します。

2. 改正社会福祉法に則った法人運営の推進

(1) 理事会・評議員会の開催

- ・平成29年度における理事会及び評議員会を次のとおり開催します。又、評議員会及び理事会の開催や理事長選任時における必要な議事録や計算書類について迅速に作成し、行政への申請や登記申請に対応します。

理事会・評議員会		開催月	主な審議内容
理事会 (監事出席)	第1回	平成29年5月下旬	平成28年度事業報告、決算について
	第2回	平成29年6月下旬	理事長選任について
	第3回	平成29年11月下旬	上期事業報告、中間期決算、補正予算について
	第4回	平成30年3月下旬	平成30年度事業計画について
評議員会	第1回(定時)	平成29年6月下旬	平成28年度事業報告、決算について
	第2回	平成29年11月下旬	上期事業報告、中間期決算、補正予算について
	第3回	平成30年3月下旬	平成30年度事業計画について

(2) 提出書類等の作成

- ・前年度決算を基に社会福祉充実残額を算出し、社会福祉充実計画を作成します。
- ・今年度より運用開始となる財務諸表等電子開示システムについてスムーズに対応し、現況報告書及び計算書類等の正確な入力を行い、所轄庁へ提出します。

(3) 会計監査人の設置を見据えた対応

- ・平成33年度に導入する会計監査人の設置を踏まえ、具体的な監査手順や範囲について情報収集を行うとともに、設置と同時に必要な内部管理体制の整備に向けて対応していきます。

3. 施設運営のサポート

- ・平成30年度の運用開始に向け新会計ソフトの検討、導入を行います。
- ・愛の家の新規事業開始に向け、収支計画、人材確保等のサポートを行います。
- ・各施設の月次会議に出席し、課題の整理や改善策の実施に向けたサポートを行います。
- ・ストレスチェックの実施と並行してメンタルヘルス講習を企画し実施します。

4. 法人活動の情報発信強化

- ・愛&ハート定期発行の他、法人ホームページ、フェイスブックを利用した法人や施設の活動、求人情報等について更新頻度を上げて発信します。
- ・N T T労働組合の役員研修等での活動報告や施設見学等の機会を設定し、法人のPR活動を行います。

5. 中長期の課題についての取り組み

- ・平成33年に法人設立50年の節目を向かえることから、それに相応しい記念事業の検討等、いくつかの候補案の検討を行い実現に向けて早めに対応を進めます。
- ・あいハート須磨の土地使用賃貸契約（無償契約）について、平成35年9月末日に契約が終了することから、事業継続を前提とした対応スタンスや考え方を整理します。

愛の家
平成29年度 事業計画

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(1) “声”の収集と課題の解決

- ①職員面談を通じて職員の“声”を聞き、風通しの良い職場を作ります。
- ②お客様(利用者さんや保護者)や地域住民等からの“声”を積極的に収集し、課題の解決を図ります。
- ③“声”の中の優良事例や称賛事例を紹介(共有)し、更なるサービスの向上につなげます。

(2)タイムリーかつ積極的な情報提供

- ①保護者会にて事業計画の説明を行うとともに、適宜、進捗状況を報告します。
- ②毎月の帰宅時には、通知表にて施設での生活状況等の近況をお知らせします。
- ③「愛の家だより」は毎月発行に変更し、内容の充実を図りタイムリーな情報提供を心掛けます。

2. 安心して信頼されるサービスの提供

(1)安心・安全な食事の提供

- ①誤嚥事故防止のため、利用者個々の特性に応じた大きさで食事を提供します。
- ②アレルギー食の提供回数を抑え、誤提供の防止に努めます。
- ③定期的な食事アンケートにより、食の満足度向上に努め、楽しい食事時間を提供します。

(2)信頼性の向上

- ①サービスの標準化(マニュアル化)を図ります。
- ②支援について悩みがあれば気軽に相談できるような体制(語らいの場)を作ります。
- ③コンプライアンスについての意識を高め、情報漏洩等セキュリティ事故の防止に努めます。

(3)事故防止の取り組み

- ①安全衛生委員会及びヒヤリハット委員会による職場点検を定期的を実施します。
- ②ヒヤリハット事例の収集に努め、各職場に周知(共有化)を行い事故防止につなげます。
- ③ハザードマップや交通安全ヒヤリマップの掲示等により安全意識を高めます。

3. 安定的で継続性を持った経営

(1)安定した施設の運営

- ①グループホームの収支改善に向け、利用料等の見直しを行います。
- ②過度な負担を強いることのないよう、職員の確保に努めます。
- ③部門毎の予算管理を徹底し、コスト意識を高めます。

(2)職員の育成

- ①新規採用者の育成については、担当リーダーが責任をもって育成を行います。
- ②個人別育成計画に基づき、外部研修及びセミナー等へ派遣します。

③階層別部内研修(上半期)及び帰宅日には全体研修を実施します。

(3) 支援の質の向上

①介護福祉士資格保有者の増大に向け、実務者研修費用の補助を行います。

②優良事例(支援)の水平展開によってレベルアップを図ります。

4. 地域交流の推進

(1) 地域イベントへの参加

①自治会活動(清掃活動等)や地域イベント等へ積極的に参加します。

②地域の福祉団体等との連携を強化し、交流を図ります。

(2) ボランティアの積極的な受入れ

①必要とするボランティアメニューを整理し、関係機関に情報を発信します。

②ボランティアとの意見交換及び感謝会を開催します。

③気軽にサロンなどを開催していただけるよう広く周知し、開放的な施設にします。

あいハート須磨
平成29年度事業計画

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(利用者、家族、地域住民の要望に応える運営を行い、福祉社会への情報発信に努めます。)

(1) 情報収集と課題解決の実施

①「お客様の声」の積極的収集による業務改善を推進します。

お客様からの「要望」をより多く収集できるよう、収集方法の見直しを行います。

②地域包括支援業務を通じて地域課題を収集するとともに課題解決に向けた対応に取り組みます。

(2) 情報発信

機関紙（愛&ハートや各部門で作成している通信）やホームページ、家族会・勉強会等を通じて、サービス向上に向けた取組みや社会貢献の実施状況、制度の動向等に関する情報を発信します。

2. 安心して信頼されるサービスの提供

(安心、安全なサービスの提供と質の向上を図り、信頼獲得に努めます。)

(1) サービス向上の取り組み

- ・各部門でサービスの向上に向けた重点課題を設定し、解決に向けて取り組みます。
- ・月次検討会議で進捗状況の確認を行い、要因分析や課題解決に向けた対策を検討します。対策の実施・検証により、目標の達成を目指します。

(2) 事故防止と再発防止の取り組み

- ・分析に基づく対策立案を意識して、ヒヤリハットに取り組みます。
- ・事故発生時は、速やかな事故報告と要因分析を行い再発防止に努めます。

(3) 防災対策

- ・震災マニュアルに基づいた勉強会を通じてマニュアルの充実を図ります。
- ・法定避難訓練（年2回）と自主訓練（神戸市シェイクアウト訓練やプラスワン訓練等）を実施します。
- ・四半期毎に安否確認訓練とツールの整備を実施します。

(4) 誤請求防止の取り組み

- ・加算算定要件のチェックリストに基づき、四半期毎に内部監査を実施します。

(5) 神戸市老人福祉施設連盟による第三者評価の受審

- ・第三者評価を通じて、課題の掘り起こしとご家族の満足度調査を実施します。

3. 安定的で継続性を持った経営

(社会的な要請への対応と法令遵守を基調に安定的で継続性をもった経営を行います。)

(1) 人材確保と育成

①処遇改善の継続

- ・介護職員処遇改善加算Ⅰの算定を継続します。
- ・人事考課制度と連動した定期昇給を継続します。

②人材確保

- ・中期的な視点に立ったマネジメント体制構築の計画を策定します。
- ・施設ケアマネ（相談員兼務）の専担化及び間接業務の切り離しによる介護職員の負担軽減を目指します。
- ・本部と連携して他府県からの職員採用を推進します。
- ・複数のチャンネルを活用した求人活動を展開します。
- ・EPA介護福祉士候補者の受入れに向けた対応を進めます。
- ・見学者・実習生・ボランティア等に対する採用活動を強化します。

③人材育成

- ・研修計画に基づいた人材育成を開始します。
- ・認知症ケア関連の資格取得と研修の受講を推進します。
認知症介護実践者研修（特養：1名、須磨デイ：2名）
認知症介護実践リーダー研修（特養：1名）
- ・キャリア段位制度の定着に向けた対応を行います。
アセッサー認定（特養：2名、須磨デイ：1名）
レベル認定（特養：6名、須磨デイ：3名）
- ・生活リハビリに関する外部研修の受講を継続します。

④個別面談の実施

- ・施設長と職員との個別面談を実施し、悩みの解消やキャリアプランの検討材料とします。

(2) 部門別中期計画の遂行

- ・部門別中期計画（平成29年度～平成31年度）の遂行により、各部門の「強み」を確立・強化することで安定的で継続性を持った経営の実現を目指します。

(3) 収支目標の達成

- ・月次検討会議で収支目標の進捗確認を行い、要因分析や課題解決に向けた対策を検討します。対策の実施・検証により、収支目標の達成を目指します。

(4) 計画的な改修工事の実施

- ・経年劣化に伴う設備更改を計画的（コージェネ発動機の更改等）に実施します。
- ・防犯カメラの設置により、防犯対策の強化を図ります。
- ・須磨デイサービスの機能訓練スペース拡張に向けた対応を行います。
- ・特養多床室のプライバシー保護に関する検討を開始します。

(5) 新規事業の検討

- ・第6期神戸市介護保険事業計画や現在の事業所数等を基に新規事業の検討を行い、事業種別の決定を目指します。

4. 地域交流の推進

（地域社会の活動拠点として、施設と利用者が地域社会の一員としての役割が果たせるよう取り組みます。）

(1) ボランティアの受入推進

- ・ボランティア名簿（名前・内容・曜日等）を更新し、施設内の情報共有を図ります。

(2) イベント等の実施

- ・夏祭りや仲良し交流会等、地域交流イベントを実施します。
- ・企業や学校からの研修・実習依頼に対応します。

(3) 自治会支援

- ・自治会行事の継続に向けて、準備作業等の支援を行います。

あいハート離宮前
平成29年度事業計画

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(利用者、家族、地域住民の要望に応える運営を行い、福祉社会への情報発信に努めます。)

(1) 情報収集と課題解決の実施

- ① 「お客様の声」の積極的収集による業務改善を推進します。
各フロアのケアステーションに「お客様の声」の用紙を整備するとともに、職員の聴き取りによる「お客様の声」を記録するノートを活用します。
- ② 「お客様の声」のうち中長期の取り組みとするものの分類と進捗状況の管理を行います。
短期間で解決できない課題については、中長期の取り組みとして個別に進捗管理を行いながら対応します。

(2) 情報発信

- ① 運営懇談会を通じてサービスの提供状況や財務状況等、施設運営に関する状況報告を行います。
- ② 機関紙「愛&ハート」や「離宮前通信」、ホームページ、勉強会等を通じて、サービス向上に向けた取り組みや行事、社会貢献の実施状況、制度の動向に関する情報を発信します。

2. 安心して信頼されるサービスの提供

(安心、安全なサービスの提供と質の向上を図り、信頼獲得に努めます。)

(1) サービス向上の取り組み

- ① 担当制に基づいたアクティビティーに関するニーズの吸い上げを行い、職員が共有するとともにプラン化いたします。
- ② 挨拶が接遇の基本であることを自覚し、積極的に気持ちの良い挨拶を交わします。
- ③ 各種マニュアルの整備、見直しを推進し、業務ならびに指導の統一化を図ります。
- ④ 月例会議、離宮前ミーティングに加え、委員会や夜勤者、a勤職員などカテゴリごとのミーティングや勉強会を開催し、情報交換や思いの共有、介護技術の向上を図ります。
- ⑤ 歯磨き、義歯洗浄、うがいなど口腔ケアの充実を図ります。
- ⑥ 清掃・リネン交換の専任業務化を定着させることで環境や衛生の質の向上を図ります。
- ⑦ 日常生活動作に加え各種リハビリ機器を活用した機能訓練の充実を図ります。
- ⑧ あいハート離宮前としての「ブランド力」「付加価値」を明確にし、職員が共有して提供できる地盤を確立します。
- ⑨ 防犯対策と無断外出者の早期発見による事故防止を目的とした防犯設備の強化を図ります。
- ⑩ 月次検討会議で進捗状況の確認を行い、要因分析や課題解決に向けた対策を検討します。対策の実施・検証により、目標の達成を目指します。

(2) 事故防止と再発防止の取り組み

- ① ヒヤリハットのデータ化による活用と個々の再発防止策の立案を目指します。
- ② 事故発生時は、速やかな事故報告と要因分析を行い再発防止に努めます。

(3) 防災対策

- ① 震災マニュアルに基づいた勉強会を開催し、発災時の行動をイメージするとともにマニュアルの精度向上を図ります。
- ② 法定避難訓練（年2回）と自主訓練を実施します。
- ③ 防災に関する研修を全職員対象かつ新入職員のオリエンテーションの中で実施します。
- ④ 神戸市シェイクアウト訓練に参加するとともに、プラスワン訓練を実施します。

3. 安定的で継続性を持った経営

(社会的な要請への対応と法令順守を基調に安定的で継続性をもった経営を行います。)

(1) 人材確保と育成

- ① 本部と連携して他府県からの職員採用を推進します。(平成29年度は新たに他府県の高卒者へのアプローチにも取り組みます。)
- ② 複数のチャネルを活用した求人活動を展開します。
- ③ 職員・求職者の声を傾聴した間接業務等の切り離しを検討・実施し、職員の定着を図ります。
- ④ 働き方や価値観、生活の多様化に配慮した求人活動を展開します。
- ⑤ 仕事に取り組む姿勢や心構えに関する教育を実践します。
プロ意識ならびにレベルや資質の向上とサービス業としての意識の浸透を図ります。
- ⑥ 認知症ケア関連の資格取得と研修の受講を推進します。
- ⑦ 介護福祉士実務者研修の受講料補助を行い、資格取得を推進します。
- ⑧ 生活リハビリに関する外部研修の受講を推進します。
- ⑨ 理念(職員の行動規範)を毎朝のミーティング時に唱和します。
- ⑩ 施設長と職員との個別面談を実施し、悩みの解消やキャリアプランの検討材料とします。

(2) 収支目標の達成

- ① 月次検討会議で収支目標の進捗確認を行い、要因分析や課題解決に向けた対策を検討します。対策の実施・検証により、収支目標の達成を目指します。
- ② 検討中のお客様に対して定期的に情報発信を行い、契約解除後の早期契約を目指します。
- ③ 要介護度別のニーズの構成や稼働率ならびに固定費と変動費の現実を踏まえた経営計画を策定します。
- ④ 借入金利息(金利)の見直しについて借入先金融機関に打診します。

4. 地域交流の推進

(地域社会の活動拠点として、施設と利用者が地域社会の一員としての役割が果たせるよう取り

組みます。)

(1) ボランティアの受入推進

- ① ボランティア名簿（団体名・個人名・内容・曜日等）を整備し、施設内での情報共有を図ります。
- ② ボランティアとの意見交換を定期的を実施し、問題や要望の把握と改善に努めます。

(2) イベント等の実施

- ① 納涼祭（夏祭り）や仲よし交流会、落語会等、地域交流イベントを実施します。
- ② 地域で開催されるイベント等への参加を推進します。